

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

自室内の転倒転落に対する看護助手との KYT 活動の取組み

1. 研究の対象および研究対象期間

2023 年 4 月 1 日～2024 年 1 月 31 日で昭和医科大学江東豊洲病院の 8A 病棟で、危険度Ⅱb 以上、手術当日と術後 1 日目、内視鏡・IVR・DR での検査・処置当日、化学療法の投与初日、q-SOFA1 点以上のいずれかに該当する入院患者さん

2. 研究目的・方法

急性期病院の A 病棟では 2022 年に年間 34 件の転倒転落が発生し、自室での発生は 21 件（63.6%）を占め、その内 2 件は骨折事例でした。そこで我々は、転倒転落の内的（患者さんの状態）や外的（患者さんを取り巻く環境全て）の要因に注目し、危険予知のトレーニングを活用したカンファレンスを導入し、常に患者さんの搬送の直接的な介助者である看護助手と協働した予防策の取組みを実施しました。その結果、一定の効果を得たのでその内容について電子カルテを用いて、後から検証したいと考えました。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（性別、年齢、危険度、転倒転落件数、インシデントレポート）

5. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提出はありません。

6. 研究組織

研究責任者	研究機関名	昭和医科大学江東豊洲病院	氏名	百石 仁美
研究分担者		昭和医科大学保健医療学部 看護学科	氏名	大崎 千恵子
		昭和医科大学院医学研究科	氏名	諸星 北人
		昭和医科大学江東豊洲病院	氏名	高橋 千恵子
			氏名	下 恵子
			氏名	倉富 英明
			氏名	福田 つかさ

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学江東豊洲病院

氏名：百石 仁美

住所：東京都江東区豊洲 5-1-38

電話番号：03-6204-6272